

地域包括ケアシステム構築に向けた 取組状況について

岩手県保健福祉部長寿社会課

※本資料は、注記があるものを除き、「地域包括ケアシステム構築支援シート」（令和2年6月1日時点）による回答結果を中心にまとめたものです。

地域ケア会議等体制整備の状況

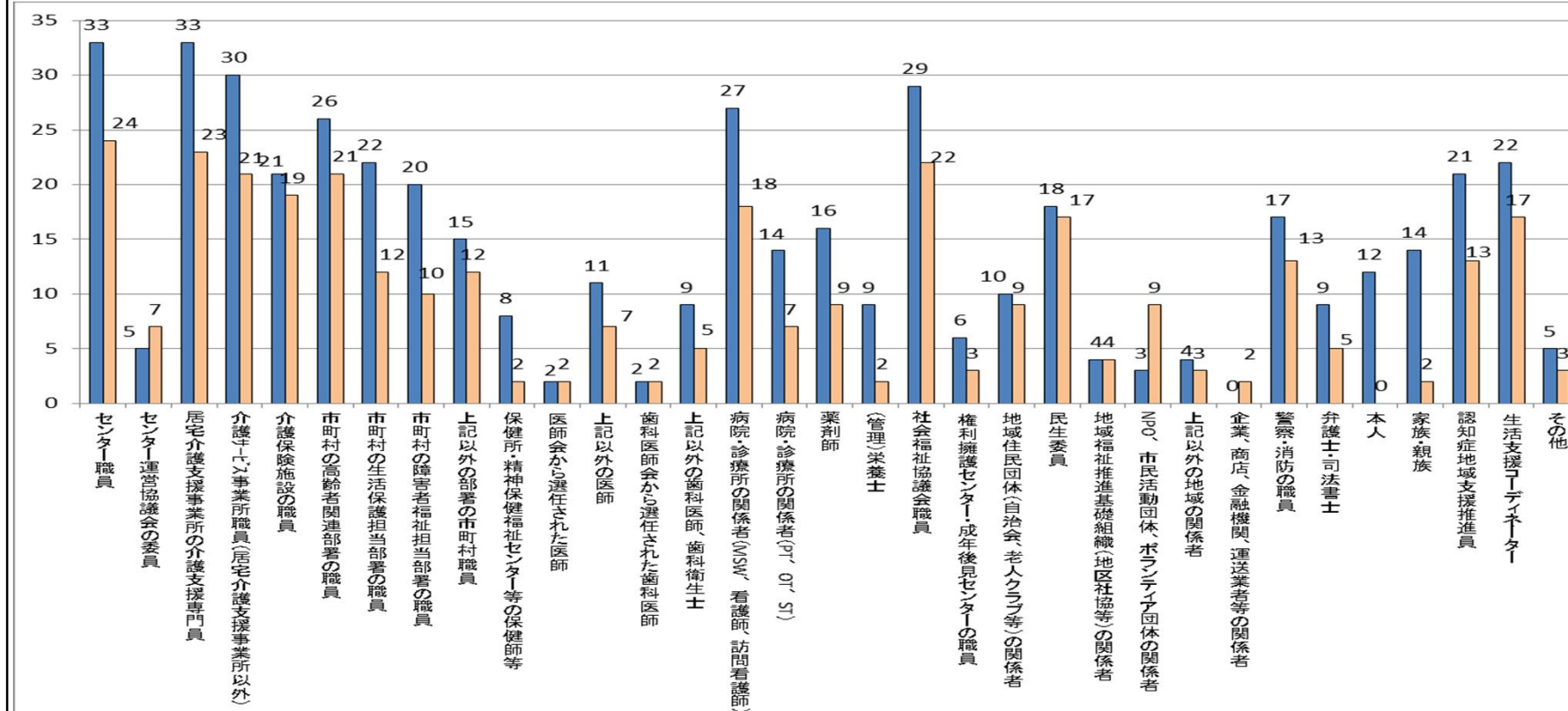
■ 地域ケア推進会議の開催 26市町村

■ 地域ケア個別会議の開催 33市町村

＜参加職種＞

※令和2年度地域包括支援センター運営状況調査（厚生労働省）
～該当する職種が、令和元年度中に一度でも参加した市町村の数～

地域ケア個別会議
地域ケア推進会議



■ 生活支援コーディネーター配置 33市町村

■ 協議体設置 31市町村

■ 認知症地域支援推進員配置 33市町村

■ 認知症初期集中支援チーム設置 33市町村

在宅医療・介護連携の状況

〔入退院調整に関するルールを共有・協議している市町村〕

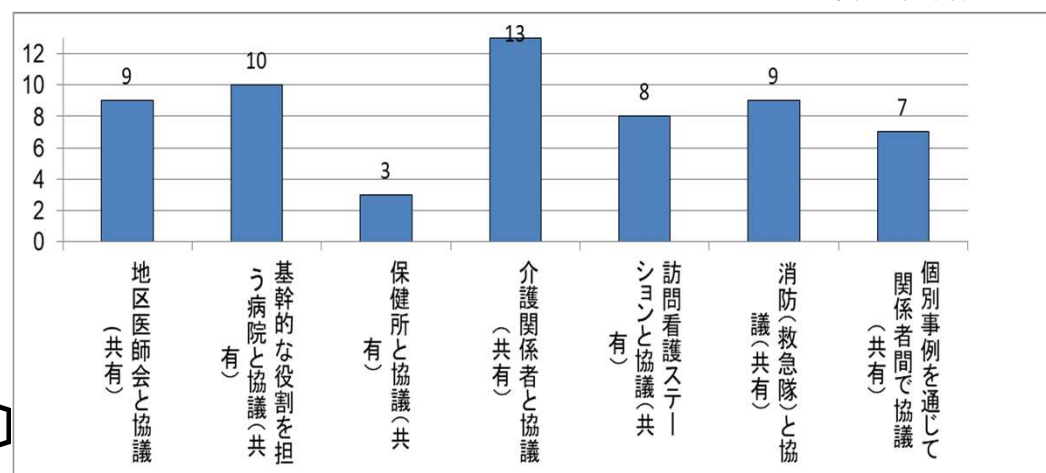
〔緊急連絡票について、関係者との協議又は対応方法の共有ができている市町村〕

◆ 21市町村

※ 盛岡・宮古圏域では、保健所が事務局となり、入退院調整ガイドライン事業を実施している。

※ 下記のいずれかに該当：18市町村

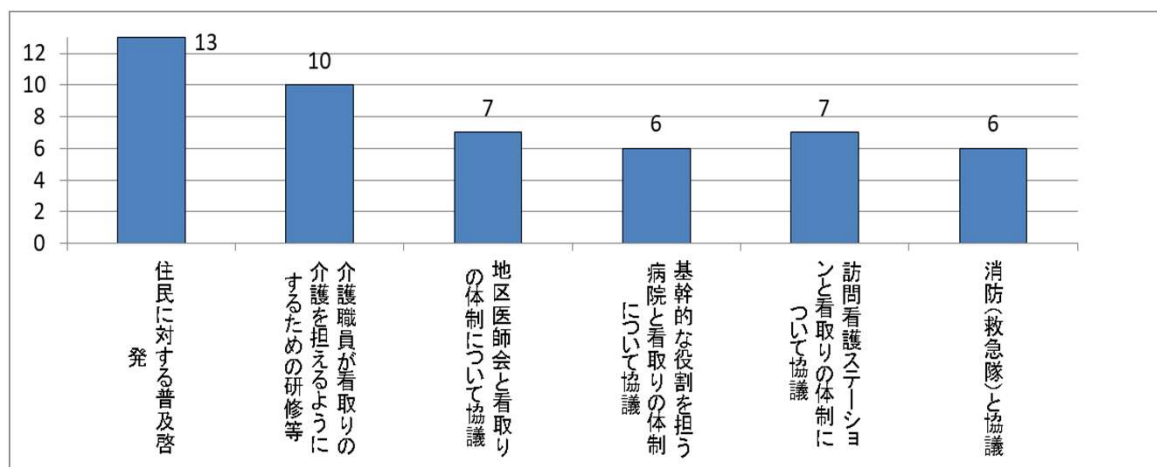
《単位：市町村》



〔看取りについて取り組んでいる市町村〕

※ 下記のいずれかに該当：20市町村

《単位：市町村》



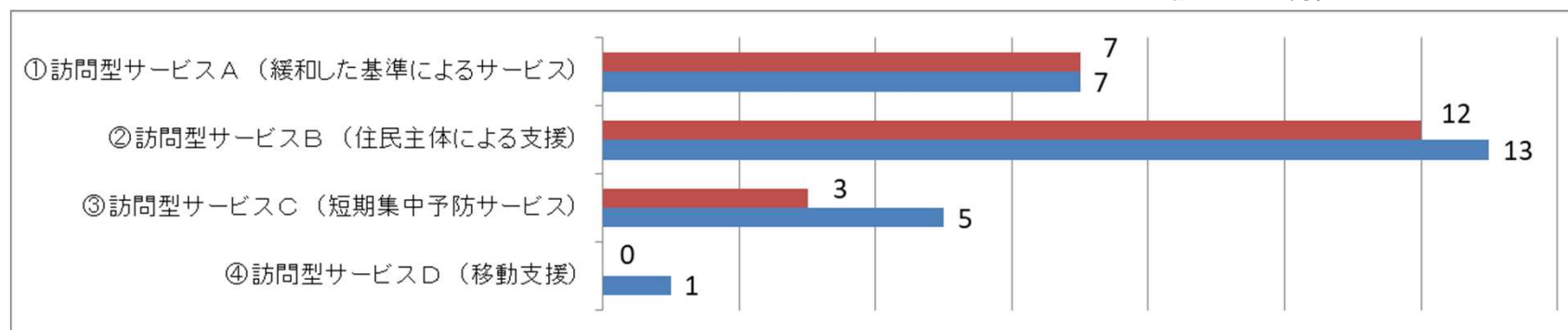
介護予防・生活支援の状況

■ 介護予防・日常生活支援総合事業(介護予防・生活支援サービス事業)

※ 旧介護予防訪問(通所)介護相当のサービスは、33市町村で実施

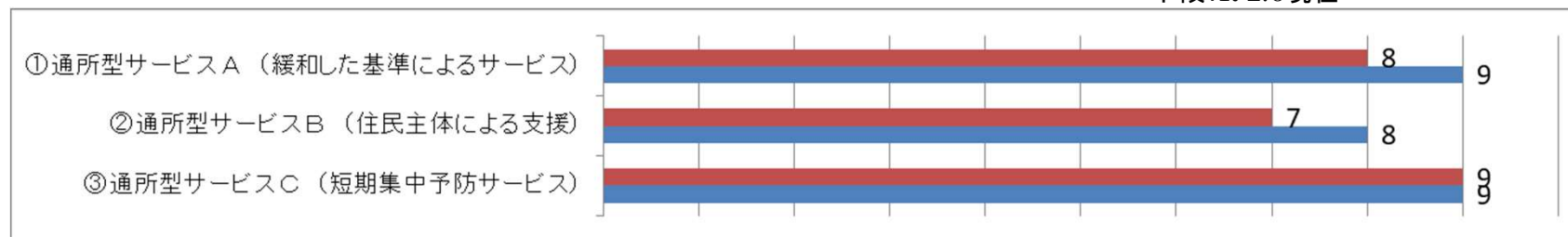
【訪問型サービス(多様なサービス)実施市町村数】

上段: R 1.6現在
下段: R 2.6現在



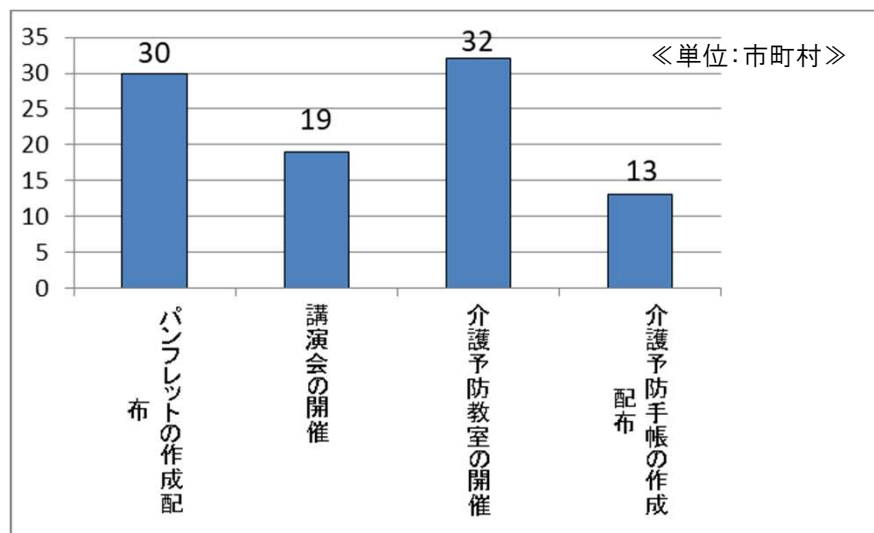
【通所型サービス(多様なサービス)実施市町村数】

上段: R 1.6現在
下段: R 2.6現在

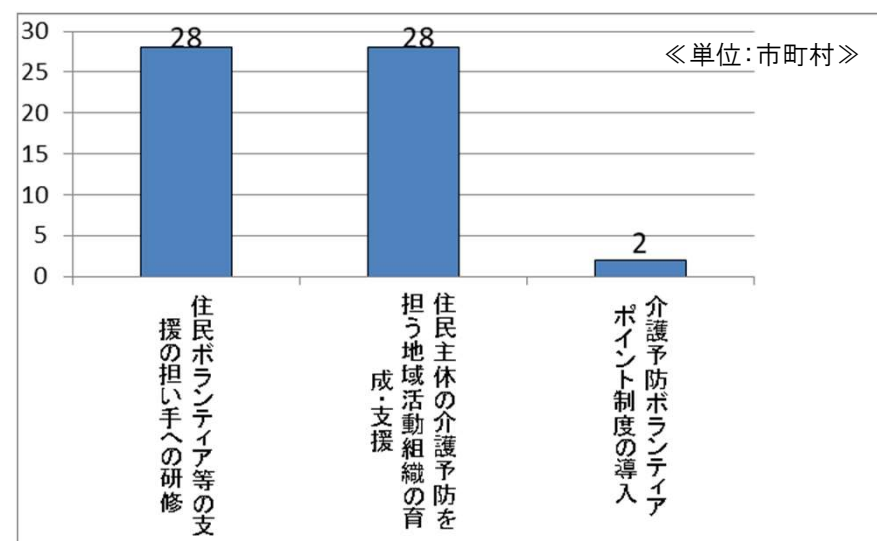


■ 介護予防・日常生活支援総合事業(一般介護予防事業)

〔介護予防普及啓発事業〕



〔地域介護予防活動支援事業〕



〔住民主体の通いの場の状況〕 (H31.3現在)

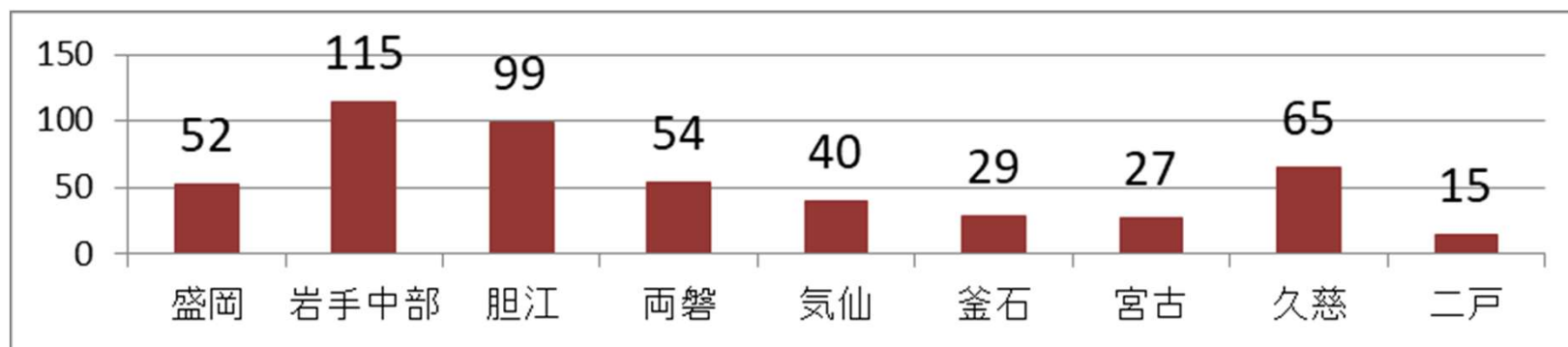
○住民主体の通いの場がある市町村・・・25

○住民主体の通いの場の数・・・・・・・496箇所

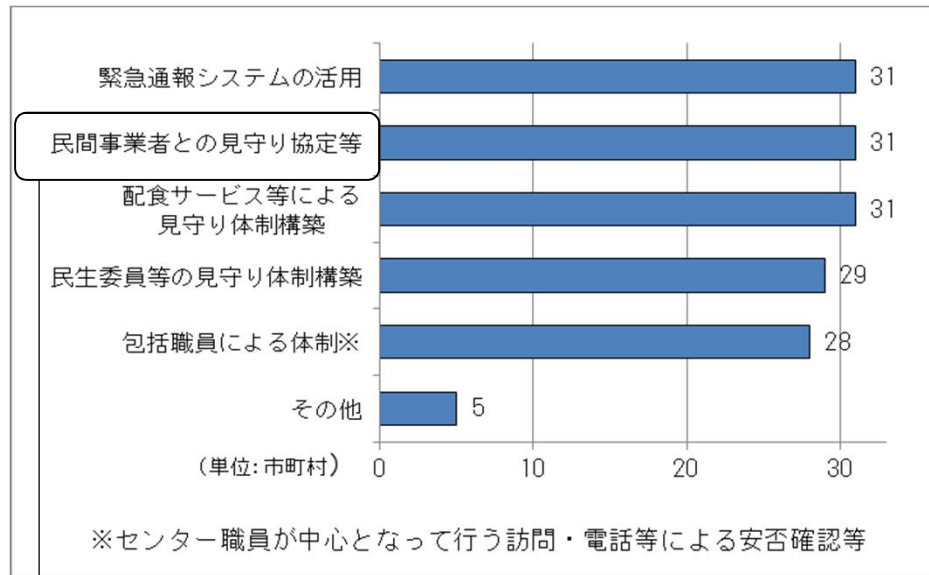
※ 次のとおり定義

- ①週1回以上、定期的に活動していること。
- ②毎回、体操を行っていること。
- ③住民が主体となって運営していること。

○住民主体の通いの場の参加者数・・・7,465人

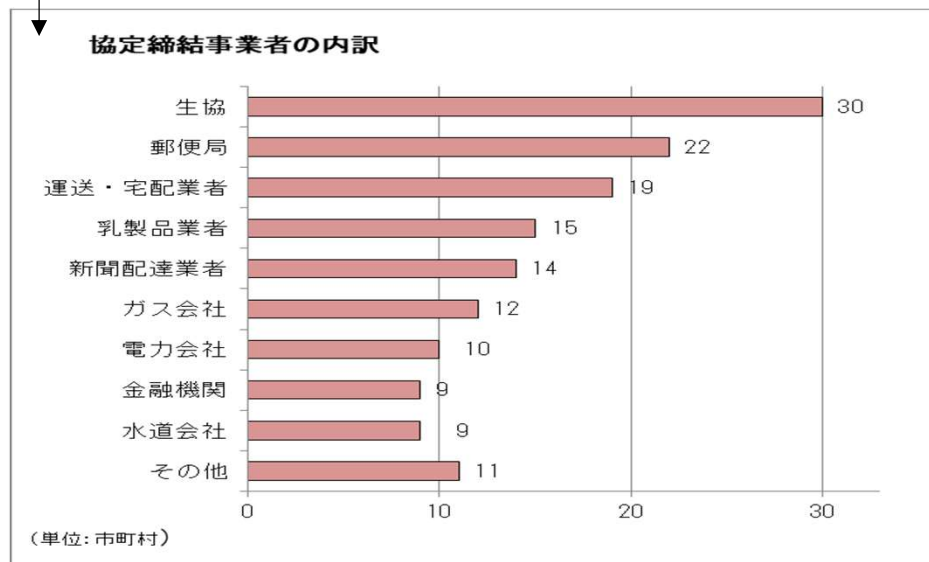


(参考)高齢者に対する見守りに関する取組状況 ～高齢者の権利擁護に関する調査結果(R2.6)～



「その他」の具体的な内容

- ・地域住民による見守り活動
- ・社会福祉協議会事業（ゆいづくり、お元気見守りシステム）
- ・地区自治振興会での見守り。
- ・シルバーサポーター設置訪問事業
- ・みまもり買い物支援サービス

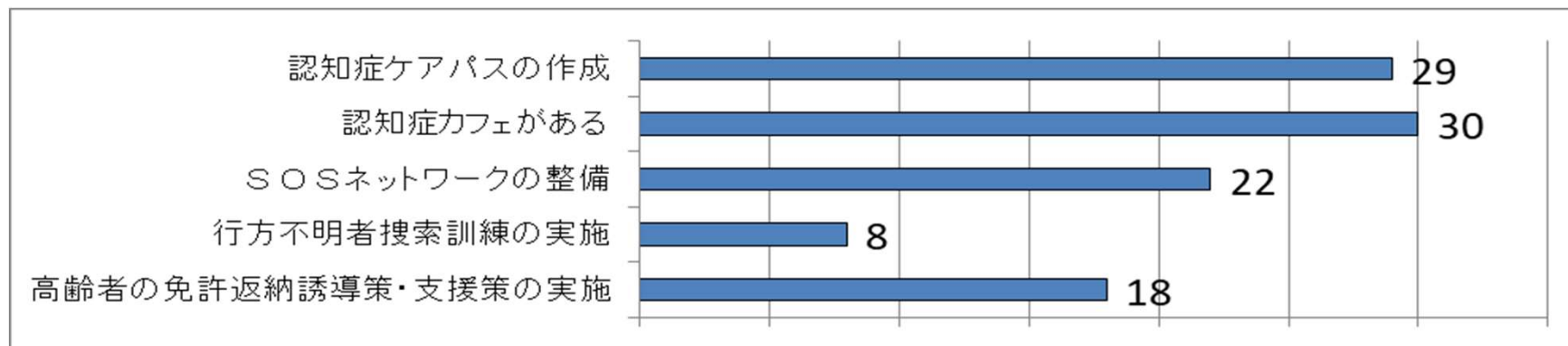


「その他」の具体的な内容

- ・保険会社
- ・商業施設
- ・ガソリンスタンド
- ・酒店
- ・一般商店、スーパー、コンビニ
- ・収集運搬業
- ・不動産業
- ・シルバー人材センター
- ・社会福祉協議会
- ・介護・福祉事業所
- ・ドラッグストア
- ・市営住宅管理センター
- ・医療機関・薬局
- ・タクシー会社
- ・宅配
- ・JA
- ・理美容業者
- ・商工会
- ・老人クラブ

認知症の方や家族に対する支援の状況

<単位:市町村>



〔認知症サポーターの活動〕

	総人口 (人)		高齢化率 (%)	サポーター講座開催回数 (回)	メイト数 (人) ※1	サポーター数 (人) ※2	合計サポーター数 (人) ※1+2	総人口に占める割合 (メイト+サポーター) (%)	1人当たり担当高齢者人口 (人)	総人口1万人当たりの講座開催回数 (回)
		65歳以上人口 (人)								
R2.3末	1,221,170	405,817	33.2	5,392	1,752	174,560	176,312	14.10	2.3	43.1

<単位:市町村>

